

国	内	県	内
1日	<b>全日空系LCC就航</b> 格安航空会社(LCC)エアアジア・ジャパンが、成田と札幌・福岡を結ぶ2路線を就航(沖縄線は3日~)。	1日	<b>12年度設備投資計画、前年度比42.9%減少</b> 日本政策投資銀行まとめて、減少は2年連続。県内外資本金1億円以上の企業114社が回答。
2日	<b>公立小中学校の耐震化率、84.8%</b> 文部科学省の発表で、2011年度耐震化率は前年調査比+4.5P、宮崎県は87.4%(前年比+5.0P)。	1日	<b>宮崎恋旅ドライブキャンペーン開始</b> 県高速道路利用促進協議会など4者協働で、神話にまつわるスポットを巡るスタンプラリーを開始。
3日	<b>米国への牛肉輸出再開を発表</b> 農林水産省は、米国が10年4月から停止していた牛肉輸入の再開を発表したことを発表。	6日	<b>県就職説明会、県内6会場で開催</b> 県や労働局などの主催により6日~17日まで、「平成24年度宮崎県就職説明会」を開催。
7日	<b>国家公務員の退職手当引下げ、閣議決定</b> 政府は、国家公務員の退職手当を3段階で引下げる基本方針を閣議決定。	6日	<b>宮崎大学、太陽集光装置完成式</b> 鏡を使って太陽光を反射させて集光するビームダウン式で、国内最大級。宮崎大学で完成式開催。
10日	<b>改正労働契約法公布</b> 契約社員など有期労働契約が5年を超えた場合、無期労働契約に転換することなどが内容。	20日	<b>西米良村で種雄牛センター起工式</b> 県有種雄牛を分散管理する施設「家畜改良事業団小川種雄牛センター」起工式開催。
10日	<b>消費増税関連8法案、成立</b> 消費税率を14年に8%、15年10月に10%に引き上げる法案ほか改革関連法案が可決、成立。	22日	<b>医学生地域医療ガイダンス開始</b> 県主催で、地域医療者育成を目的に、延岡市や美郷町など県内12医療機関で3日間開催。
24日	<b>2011年度医療費、38兆円</b> 厚生労働省発表で、医療機関に支払われた医療費は、10年度比+3.1%、9年連続増加。	23日	<b>梅雨時期の公共土木施設被害、24億円</b> 県は、6月15日~7月22日にかけての梅雨前線豪雨等の被害状況(暫定)を発表。
24日	<b>2012年認知症高齢者、推計305万人</b> 厚生労働省発表で、日常生活自立度Ⅱ以上の認知症高齢者が305万人と推計。	24日	<b>西都児湯環境整備事務組合、新火葬場建設へ</b> 組合の臨時会議で、新火葬場建設に向けた対策室設置を提案、可決。
28日	<b>8月月例経済報告、基調判断修正</b> 政府は、基調判断を「一部に弱い動きがみられる」としながらも、緩やかに回復しつつある、とした。	24日	<b>早期水稻の新品種「夏の笑み」発表</b> 県総合農業試験場は、「コシヒカリ」より晩成、多収、台風・高温にも強い新品種育成を発表。
29日	<b>不動産価格指数、試験運用開始</b> 国土交通省は、全国や地域別に毎月の不動産価格を指数化した不動産価格指数(住宅)を発表。	25日	<b>県免許センター新庁舎落成式</b> 県総合自動車運転免許センター(宮崎市)落成式開催。総事業費約31億円。
29日	<b>南海トラフ地震の被害想定発表</b> 内閣府は、南海トラフの巨大地震で、最大約32万人の死亡予想を発表。	27日	<b>口蹄疫メモリアルセンター開設</b> 県は、口蹄疫に関する県民の意識を風化させないため、県農業科学公園(高鍋町)にセンター設置。
29日	<b>高齢者雇用安定法改正案、成立</b> 60歳定年後の「継続雇用対象者」を労使協定で限定できる仕組みの廃止などが内容。13年4月施行。	29日	<b>農業大学校と高鍋農高、連携協定書締結</b> 農業大学校と高鍋農業高校は、両校で本県農業を担う人材育成を目指すことで合意。
29日	<b>6次産業化ファンド法案、成立</b> 農林漁業者による6次産業化を支援する、株式会社農林漁業成長産業化支援機構法案が成立。	30日	<b>南海トラフ地震対策九州ブロック協議会開催</b> 第1回協議会が宮崎市で開催。国や九州各県防災担当課長などが参加し、今後の対策等を協議。
30日	<b>大阪の複合ビル、高さ日本一に</b> 近鉄が大阪市阿倍野区に建設中の「あべのハルカス」の高さが300mに達し、ビルとして日本一に。	30日	<b>「みやざき6次産業化推進大会」開催</b> 農林水産業の高付加価値化、6次産業化の意識醸成等を目的に、本県では初めての開催。